

放課後の ICT 活用事例

部活動でもICT活用

●欠席したらクラスルームを見よう

女子卓球部では、部活動で配布したプリントをクラスルームに掲載しています。部活動を休んだ時はクラスルームを見ればプリントが配られているかどうか分かります。顧問としても、スマホのアプリの中に部員に配った予定表などが全部入っていて、とても便利になりました。

●部活動で使った資料や動画をいつでも

練習メニューのお手本などの動画もクラスルームに掲載しています。また見たいな、と思った時にいつでも見られます。感染症対策で市総体の応援に行けなかった1年生は、クラスルームで動画を見て、団体戦の雰囲気味わうことができました。また、年に3回の校内戦では、途中経過を大型提示装置に写すことで、部員のモチベーションアップにつながっています。



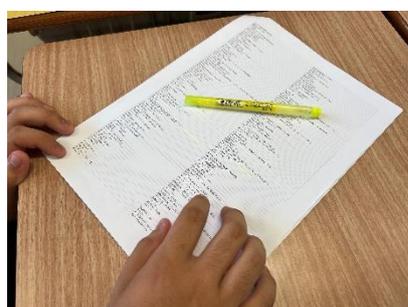
ICT機器管理係

●月に2回、生徒がICT機器を点検

今年度から、全校係会になった「ICT機器管理係」。毎月各自のクロームブックや各教室のICT機器に破損や紛失がないか、適切に使っているかを点検しています。

●クロームブックの破損を防ぐために

1学期には、クロームブックの破損を防ぐために、各クラスのICT機器管理係が集まって話し合いを行いました。全校生徒が考えた「クロームブックを壊さない使い方」に、1つ1つ生懸命目を通して、川之江北中学校の新しいルールを作り、スライドを使って全校生徒に伝えました。



☆教育委員会主幹講評☆ クラスルームは、感染症の影響から登校できない期間であっても課題や宿題、またフィードバックを与えることで、学習の遅延を抑止することもできる非常に便利なツールとして活用が進み、感染症の影響下以外でも日常的に活用されています。今回は、部活動における有効活用についての紹介でした。コロナ禍で急遽部活動の予定が変更になったり、休部状態になったりすることもありました。そのような時にも、クラスルームを活用することで予定の確認や休部中の体づくりなど指示ができ、生徒や保護者へも安心感を与えることができました。昨年度末にできたICT係ですが、各校で様々な活動をしてきています。北中学校では「ICT機器管理係」としてChromebookの適切な使用及び管理について全校に向けて発信を行うなど、熱心に取り組んでくれているのが伝わりました。今後もクラスルームの多様な活用方法やICT系の活躍についての報告を楽しみにしています。